

JA新しいわての「農家組合員の所得増大・農業生産の拡大」の取組事例

JA新しいわて【正組合員数 20,366 人 販売品販売高 46,718 百万円（平成 29 年実績）】

<担い手対応強化（担い手支援）の取り組み>

地域農業振興計画の実現へ（キーワード：販売額 500 億円）

地域農業の振興と組合員の所得向上、経営基盤の安定化を柱として、農畜産物販売額 500 億円を目標とする「地域農業振興計画」を策定し、役職員一丸で取り組んでいます。「地域農業振興計画」の実現に向けた支援策として、「農業振興対策事業」を平成 22 年度から実施し、様々な支援を行っています。



畜産・酪農生産拡大事業による簡易牛舎の新築

担い手支援対策事業（キーワード：トマト、ブロッコリー生産拡大）



地域農業振興計画にもとづき、平成 29 年度から 3 か年、「JA新しいわて担い手支援対策事業」を設け、平成 30 年度は 3 千万円を事業予算とし、若い担い手に特化して支援しています。支援の成果としてトマト（ミニトマト含）の作付面積（内・新規 3 戸）、およびブロッコリーの作付面積が増加しています。

トマト生産の新規就農支援

<マーケットインによる販売事業強化（生産振興の取り組み）>

野菜販売 120 億円産地育成会（キーワード：野菜販売 120 億円）

「日本一の産地チャレンジ運動」を展開しており、その中で野菜の販売は 120 億円を目標としています。主要な販売先である重点市場との情報共有を行う、生産者、JA、全農、重点市場 6 社が四位一体となった「野菜販売 120 億円産地育成会」を設置し、チャレンジ単価の設定や、物流対策、販売対策等の情報共有を行い、有利販売に取り組んでいます。



野菜販売 120 億円産地育成会

野菜応援隊（Monzla Skasyells）によるPR（キーワード：女性生産者によるPR）



東京卸売市場での販促活動

野菜産地としてさらに、管内の野菜のPRを強化し、野菜の魅力を発信することを目的に、平成 28 年度から 3 人の女性生産者（野菜生産者）を応援隊として委嘱し活動を行っています。東京卸売市場でのトップセールスや園芸産地出荷式などで、女性生産者ならではの思いを発信し、管内野菜のPRを行っています。

JA新いわての「地域活性化・くらしやすい地域づくり」の取組事例

JA女子力アップ塾

女性が学習を通じて、心豊かなくらしと地域づくりをめざすため、JA管内に在住する20代～40代の女性を対象に、様々な教室を開催しています。



ヨガ教室

離乳食教室

子育て支援の活動として地域の子育て世代の交流とJAの協同活動の理解を深めるため、JA管内に在住する妊娠中・1歳未満の子どもの保護者を対象に、離乳食の講義と調理実習を年2回開催しています。



食農教育活動

「食と農」を基軸に地域の活性化と農業への理解を図るため「食農教育」を推進しています。営農組合、JA女性部、JA青年部の協力のもと、保育園や小学生を対象にさまざまな「食農教育活動」に取り組んでいます。



JA女性部とのジャガイモの収穫

JA新いわては、「農家組合員の所得増大と魅力ある地域社会の発展に全力を尽くす。～日本一の産地チャレンジ～」の実現を目指し、全力で行動してまいります。

つきましては、組合員の皆様のご意見をお伺いしたいと考えておりますので、ご協力いただきたくお願い申し上げます。